

議員全員協議会のあらまし

議員全員協議会が、10月8日に開かれ、市側から懸案事項となっている3項目について、報告を受けました。

渋川市バイオマス活用推進計画の策定について

バイオマスとは、再生可能な生物由来の有機資源で、化石資源を除いたものです。バイオマスの活用は、地域ビジネスの展開と雇用の創出につながります。

本計画は、本年度中に計画を策定し、地域特性に合ったバイオマスの活用に取り組むため、計画期間10年で現状と目標、取り組み方針、実施体制、評価など行われるとの報告がありました。

特別養護老人ホーム清流の郷の郷の、民営化のための移譲法人の公募と選定が行われました。



売却される清流の郷

選定委員会による評価基準や評点、選定までの経過、社会福祉法人・永光会が選定されたことが報告され、質疑がありました。

産業廃棄物の処理について

工事発注までの経過と工事概要、施工条件が示され、スラグ入り碎石の処理とその費用と負担、今後の予定についての報告があり、活発な質疑がありました。

渋川総合病院再編統合問題 特別委員会の調査終了により消滅

新病院整備に伴い、市議会では渋川総合病院再編統合問題特別委員会を設置し対応しています。10月7日に開催され、新病院建設に係る内容の報告を受けました。本特別委員会は、定例会最終日に委員長報告が行われ、調査は終了したということによって解消となりました。

第10回の特別委員会では住民、地権者に土地収用法に基づく新病院事業説明会の実施、関係機関との調整などの報告がありました。

その後、土地収用法に基づく事実認定告示と今後のスケジュールについての説明がありました。

新病院用地の取得のため、独立行政法人国立病院機構が関係機関と調整を重ね、本年8月27日に土地収用法に基づく事業認定を申請、10月上旬には国土交通大臣による事業認定の告示が行われる見込みです。

事業認定により新病院整備事業は用地取得を始めとして本格的に動き出すこととなります。

今後のスケジュールは次のとおりです。

- 土地収用法の事業認定告示
- 平成25年10月上旬頃
- 用地交渉、契約
- 平成25年11月頃まで
- 起業造成工事
- 平成26年2～3月頃から
- 新病院建設工事着手
- 平成26年3月以降
- 道路等インフラ整備工事を含めおおむね20カ月の工事期間を予定しています。
- 委員からは移転交渉について質疑がありました。
- 本特別委員会は、調査が終了したということで、消滅することとし、定例会最終日に本会議で委員長報告を行うことに決定しました。

議会往来

8月

▽21日 東京都稲城市議会が視察来庁
▽27日 埼玉県川口市議会が視察来庁

10月

▽16日 山形県南陽市議会が視察来庁
▽17日 新潟県燕市議会が視察来庁
▽18日 東京都品川区議会が視察来庁
▽22日～24日 議会運営委員会が愛知県田原市と三重県鳥羽市に行政視察
▽25日 北海道網走市議会が視察来庁
▽29日 新潟県新発田市議会が視察来庁

